

Annual Report



第4期

令和4年8月1日-令和5年7月31日



***JAPAN CHALLENGER PROJECT STARTED
A NEW BUSINESS COMPETITION FOR LOCAL
ENTREPRENEURS TO SOLVE SOCIAL ISSUES.***

公益社団法人 ジャパン チャレンジャー プロジェクト

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

〒248-0012 神奈川県鎌倉市御成町5番42号

info@japanchallengerproject.com

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトとは

当法人は、令和2年6月3日から公益財団法人として活動をしており、当期は、ソーシャルミッションの実現の為、下記のとおり公益事業活動を実施した。

理念

MISSION 地域起業家をつくる

地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功している。

VISION 地方創生ベンチャーがITベンチャーと同様主流となる

地域が社会課題と言われたことが、昔の話と言われる。
日本が、起業後進国から起業先進国へ仲間入りする。

VALUE 地域起業家のプロデューサーとなる

地方創生事業にチャレンジする地域起業家の
発掘、育成、発表、起業までをトータルサポートする。

KPI (2030年)

- ・地方創生事業モデルを100地域で、JAPAN CHALLENGER AWARDを開催する。
- ・地域起業家から10社新規上場企業に導く。
- ・大学、高校、中学校に「起業体験プログラム」を1000校に導入する。

BOARD MEMBERS



会長理事

藤野 英人 レオス・キャピタルワークス（株）代表取締役

野村投資顧問（現：野村アセットマネジメント）、ジャーディンフレミング（現：JPモルガン・アセット・マネジメント）、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントを経て2003年レオス・キャピタルワークス創業。CIO（最高投資責任者）に就任。2009年取締役就任後、2015年10月より現職。中小型・成長株の運用経験が長く、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持つ。東証アカデミーフェロー。



副会長理事

柳沢 大輔 面白法人カヤック代表取締役CEO

ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社。1998年、学生時代の友人と共に面白法人カヤックを設立。鎌倉に本社を構え、鎌倉からオリジナリティのあるコンテンツをWebサイト、スマートフォンアプリ、ソーシャルゲーム市場に発信する。



代表理事

中川 直洋 総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域伝道師

大手証券会社を経て、ワタミグループ執行役員 社長室長、広報、営業推進本部、マーケティング本部長を歴任。公益財団法人みんなの夢をかなえる会を立ち上げ専務理事として、国内最大規模のみんなの夢アワードをプロデュース。多数の社会起業家を発掘。2019年独立し、地方創生プロデューサー

業務執行理事

仲木 威雄

レオス・キャピタルワークス（株）

江成 道子

（一社）日本シングルマザー支援協会 代表理事

勝見 成久

サポートワン（株） 代表取締役

白柳 雅文

（株）エイト 代表取締役

本田 亮

本田亮事務所 代表取締役

町井 則雄

（株）SHINKA代表取締役

渡邊 智恵子

一般社団法人CCF 代表理事

村口 和孝

（株）日本テクノロジーベンチャーパートナーズ 代表取締役

関 幸子

（株）ローカルファースト研究所代表

坂東 秀昭

家印株式会社代表取締役

監事

行方 一正

（株）ピーストラベルプロジェクト代表取締役

I. 普及啓発事業（公益事業 1） 地方創生の普及啓発を行う事業

趣 旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地方の過疎化、自治体の財政難などが深刻化しているが、当法人では主に以下の2点が課題であると考えている。

- ① 上記のように社会課題が混在する現在の日本において、将来のビジョンが描きづらいこと
- ② 学校教育において「事業」や「起業」、「仕事」に対しての学びの場が著しく少ないこと

上記課題の解決策として、次の3つの段階が必要だと考える。

- ①（各々が）ビジョンを持つこと
- ② そのビジョンを基に、実現のためのグランドデザインを描くこと
- ③ 起業家を、サポート、マネジメント、プロデュースする体制があること

当法人は、このような背景に鑑みて、社会の活性化を図るには、地域の活性化が重要であると考え、改めて各地方の現状を検討した。現在の地方には地産地消に加えて、観光、ビジネス等の地産地商の原石がある。その原石である地域の起業家（当法人では「チャレンジャー」と呼ぶ。）が力を発揮し、描いた事業で地方を活性化してゆくために、当法人は「彼らをいかに磨き上げるか」が重要であると考え。そこで、上記解決策を念頭に、チャレンジャーに経営の「ミッション・ビジョン・戦略」を学んでもらい、彼らが描いたビジネスプランを起業する地域の人々に対して発表し、「共感・賛同・協力」を得られるような事業に育ててゆく。当法人は、このように「発掘」「育成」「発表」「事業」という体系的な体制を構築して地方創生に取り組むことが社会を豊かにすると考え、活動してきた。

事業の内容

現在の経済活動では、社会課題に取り組む事業と、顧客に感動や驚きの体験を与える事業の両方が必要とされている。そこで、当法人では、社会課題解決事業と感動創造事業を融合した新しい事業アイデアを構築し、公民連携による地方創生事業に取り組む。

社会課題解決ビジネス

「不便」「不満」「不足」「不安」といった世の中にあるたくさんの「不」を解決するビジネス

感動創造ビジネス

「楽しい」「感動する」「ワクワクする」を世の中に提供するビジネス



「社会課題解決ビジネス」と「感動創造ビジネス」を融合させると
「あなただけのビジネスモデル」が出来上がる

これまでも多くの起業家たちが、自分の事業モデルと目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジしてきたが、当法人では、起業家たちが挑戦できる環境を作り、育成、サポートすることで、「経済活性化」と「地域課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことに寄与できると考える。

また、地域におけるプロジェクトの立案、計画、実施等を支援するために、そのプロジェクトメンバーの能力開発のためのセミナーを開催し、できる限り事業に関与するサポートを行う。

本事業は、国、地方自治体や各種団体からの委託も受けることとする。

I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

昨今の日本は課題先進国と叫ばれて久しく、人口減少・少子化・高齢化・自治体の財源難などの課題が深刻化しています。また、コロナショックにより、様々な活動が自粛されております。その一方で「住まい」と「観光ビジネス」では地方の価値が見直されています。次なるインバウンドが再来すると思われ、観光業への可能性もさらに高まり、地域起業家の輩出が一層重要になったと感じております。人々がこれらのリスクをチャンスに変え、地方創生事業を成功させるには、行政がもつ経験やノウハウに加え、民間企業が持つ「知恵とノウハウ」を効果的に活用しながら、各地域が産官学連携による《地域のグランドデザイン》を描き具体的な事業に落とし込む地域戦略が必要です。

歴史的文化、景観、食材などのブランド構築…。

今や地方には、食の6次産業、観光プログラムなどの原石が埋まっています。その原石である地域起業家（ジャパンチャレンジャー）が宝石として力を発揮し、描いた事業で地方を輝かせていくために、私たちは『彼らをいかに磨き上げるか』が大事であると考えます。彼らに経営の原理原則《ミッション・ビジョン・戦略》を学んでもらい、彼らが見出したビジネスプランを地域の方々に聞いていただき、共感・賛同・協力を得て事業として育てていく、そんなトータルサポート体制を構築していきます。『地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD』は「**地方起業こそ最強のビジネスモデル～チャレンジャーの発表の場**」です。

地域を愛する地元事業者や地元高校生などに将来のシゴトにできる事業モデルを発表する機会を設け、単なる夢物語ではない「事業チャレンジ」をサポートしていきたいと考えています。

なお、当イベントを主催は、各自治体と商工会など創業に関わる団体と連携し、プロジェクトにします。その結果イベントを通じ、**地方創生事業を形**にしていきます。

令和3年10月には、2回目となるいざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 建長寺を開催しました。コロナ禍を前提に密を避け、リモートを屈指したイベントを成功することができました。その後、各地域でもJAPAN CHALLENGER AWARD 地方版を開催してきました。



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

アワード全体の流れ（セミナーから発表まで）

事前セミナー&アワード説明会

「JAPAN CHALLENGER AWARD」のエントリーを検討している方を対象に、起業セミナーとアワード説明会を実施。「地方起業の教科書」の著者で“田舎で稼ぐ新しい働き方”を提唱する、ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事の中川が主任講師を担当。「地方における起業の可能性とは?」「地方で稼ぐにはどうしたらいいのか?」など、地方起業の秘訣を学びます。会場参加者は、アワード参加希望者だけでなく、起業家教育に取り組む学校関係者からも参加が多数あり、その地域における起業文化の盛り上がりの機運醸成を高めていきます。



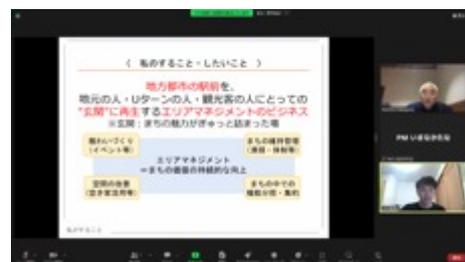
チャレンジャー向けセミナー

書類審査を通過した7名のチャレンジャーに向けたオンラインセミナーを実施。まずはJCP代表理事の中川より「プレゼンテーションの極意～起承転結～」を講義形式でレクチャーし、最終発表・審査会に向けて目指すプレゼンテーションについて学びます。またセミナー後は個別に事業計画のブラッシュアップを実施。現状の課題を認識し、それぞれ約2か月で強化すべきポイントを学びます。



個別ブラッシュアップ

JCP代表理事の中川より、チャレンジャー全員に個別ブラッシュアップ面談を実施。また7名のチャレンジャーそれぞれの事業内容に応じてSetouchi-i-Baseコーディネーターが伴走担当となり、本番までの事業プランのブラッシュアップや資料作成などをサポート。



JAPAN CHALLENGER AWARD（発表者・審査員・会場）



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

②チャレンジャー向けセミナー

瀬戸内 CHALLENGER AWARD セミナー

開催日：2022年7月30日(土)、7月31日(日)

場所：BBスクエア

講師：中川 直洋

「瀬戸内チャレンジャーアワードvol.3」への出場を目指す方を対象に、起業セミナーとアワード予選会を実施しました。「地域（地元）起業が最強のビジネスモデルである～ビジネスモデルの作り方～」をテーマに講演を行い地方起業の秘訣を学びました。また、後半には「地方で稼ぐビジネスモデルを作る」と題したワークショップを行いました。



いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD in 建長寺 セミナー

開催日：2022年8月11日(祝日)

場所：オンライン

ゲスト講師：藤野 英人

会長理事の藤野氏が直接講義と指導を行い、チャレンジャー7名からの事業に関する質問に丁寧に回答いただきました。また、昨年度のアワード登壇者の干場さんより「アワードに出て変わったこと」をテーマにお話いただきました。

〈個別セッション〉

■実施日：1回目9月5日～9月6日 / 2回目 10月4日～10月5日

■実施時間：各1時間～1時間30分

京丹後発！ ICT×地方創生甲子園 セミナー

開催日：2022年9月24日(土)

場所：オンライン

講師：中川 直洋、井上創太

ゲスト：京丹後市吉翠苑女将さん

当初、9月24日と25日の二日間で対面での合宿を計画していましたが、台風の影響により急遽オンラインでの実施に変更しました。京丹後市の魅力やプレゼンの仕方について学んだ後、実際にプレゼンを行うワークショップを実施しました。

〈個別セッション〉

■実施期間：9月10日～10月23日

■実施時間：各1時間～1時間30分



JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 四條畷 セミナー

開催日：2022年9月17日(土)、18日(日)

場所：四條畷市役所

講師：中川直洋

代表理事の中川直洋著「地方起業の教科書」を使い講義を行いました。また、特製のワークシートを活用し、アイデアをビジネスモデルに進化させるワークショップを実施しました。

〈個別セッション〉

■実施日：1回目 10月3日～10月10日 / 2回目 11月1日～11月4日

■実施時間：各1時間～1時間30分



JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子2023

開催日：2023年2月14日(火)、2月15日(水)

場所：銚子商工会議所

講師：中川直洋

地方起業の教科書をテキストに使い5つのステップ（理念、戦略、社会を知る、パートナー、収益モデル）を講義しました。自分の事業アイデアを事業モデルにするワークショップを行いました。

〈個別セッション〉

■実施日：2月中旬～ / 1人2回の個別指導

■実施時間：各1時間～1時間30分



とやまワカモノ・サミット セミナー

【第1回】

■日時：2023年7月1日（土）13:00-15:00（2時間）

■場所：ヘルジアンウッド（富山県中新川郡立山町日中上野57-1）

■講師：前田大介氏（前田薬品工業株式会社 代表取締役社長）

■パネルディスカッション：前田大介氏 中川直洋

■司会：ファシリテーター：徳田琴絵

■参加者：18名



【第2回】

■日時：2023年7月9日（日）13:00-15:00（3時間）

■場所：「Dahra Dacha（ダーラダチャ）」

（富山県下新川郡朝日町草野1361）

■講師：坂東秀昭氏（家印株式会社 代表取締役）

■パネルディスカッション：坂東 秀昭氏 中川直洋

■ファシリテーター：徳田琴絵

■参加者：25名



〈個別セッション〉

リモートにて、チャレンジャー1名ずつと個別指導 事業プランのブラッシュアップを3回ずつ行いました。個別 セミナーでは、チャレンジャーのビジネスアイデアを、共にビジネスモデルに落とし込み、さらにそのビジネスモデルをブラッシュアップしました。

■実施日：

1回目7月11日～7月15日

2回目7月20日～7月22日

3回目7月25日～7月31日



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 建長寺

地域の魅力化や課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「ジャパンチャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、ジャパンチャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らジャパンチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすことを目指しています。

開催概要

イベント名：いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 建長寺
 開催日：2022年10月27日(木)
 会場名：建長寺(神奈川県鎌倉市山ノ内8)
 参加者：50名(コロナ対応)
 後援：内閣府、経済産業省、総務省、農林水産省、観光庁、デジタル庁 神奈川県、鎌倉市 東京証券取引所
 実行委員長：藤野 英人 審査委員長：柳澤 大輔
 総合プロデューサー：中川直洋



JAPAN CHALLENGER

1. 中田樹
『盛り売りを通した人、自然歴史文化が循環する サーキュラーシティづくり』
2. 中川めぐみ
『「推し漁師」文化をつくりたい！～漁師とおいしい魚を持続可能に～』
3. 和田道也
『餃子から始まる産地ロス流通のサプライチェーン構築』
4. 仙田大騎
『公務員が行う起業』
5. 岡 えり
『聴きだされるというチャージ体験新感覚ライブコミュニケーションサービス』
6. 久保裕司
『デジタルタウンMAP構想』
7. 藤村幸澄
『京丹後発！全く新しいケータイショップのカたち』

ゲスト

福島高仁 (甲賀市 地域おこし協力隊) ～忍者名高丸

ゲスト②

坂尾英彦、村田淳一、善積真吾

司会

平野裕加里、仲木威雄

JAPAN CHALLENGER 審査員

- 実行委員長 藤野英人(会長理事)
 レオス・キャピタルワークス(株) 代表取締役 会長兼社長
 最高投資責任者(CIO)
- 審査委員長 柳澤大輔(副会長理事)
 面白法人カヤック 代表取締役CEO
- 審査員 村口和孝(理事)
 (株)日本テクノロジーベンチャーパートナーズ代表
- 外部審査員 石坂典子
 石坂産業(株) 代表取締役
 田澤麻里香
 KURABITOSTAY 代表取締役社長
 中村利江
 出前館前代表取締役社長 エムスリー(株) 取締役

アドバイス

- 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト役員
- ・ 行方一正 (株式会社ピーストラベルプロジェクト代表取締役)
 - ・ 関幸子 (株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役)
 - ・ 坂東秀昭 (株式会社家印)
 - ・ 江成道子 (一般社団法人シングルマザー支援協会 代表理事)
 - ・ 本田亮 (株式会社本田亮事務所)
 - ・ 勝見成久 (サポートワン株式会社 代表取締役社長)
 - ・ 渡邊智恵子 (一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー代表理事)



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

瀬戸内 JAPAN CHALLENGER AWARD 2022

- 日程：2022年10月08日(土) 14:00～17:00
- 場所：情報通信交流館（e-とぴあ・かがわ）5階 BBスクエア
- 主催：香川県 ■ 共催：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 参加人数：約50名（コロナ対応）



京丹後発！ICT×地方創生甲子園 2022

- 日程：2022年10月30日（日）14:00～
- 場所：丹後王国「食のみやこ」 情報交流センター
- 主催：京丹後市
- 後援：iU 情報経営イノベーション専門職大学、日本取引所（東証）グループ、近畿経済産業局
- 特別協賛：アサヒグループジャパン株式会社
- 参加人数：約100名（コロナ対応）



JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 京丹後

- 日程：2022年11月18日（金）10:00～
- 場所：丹後地域公民館
- 主催：京丹後市
- 後援：日本取引所（東証）グループ 近畿経済産業局、デジタル庁
- 特別協賛：アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会
- 参加人数：約50名（コロナ対応）



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

JAPAN CHALLENGER AWARD 2022 in 四條畷

- 日程：2022年11月23日（水・祝）
- 場所：四條畷市市民総合センター 市民ホール
- 主催：JAPAN CHALLENGER AWARD in 四條畷実行委員会（四條畷市、四條畷市商工会、枚方信用金庫）
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 協賛：上村金網工業株式会社、枚方信用金庫、堀産業株式会社、レオスキャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック、ヤマサ醤油株式会社、株式会社レイメイ藤井、株式会社大和システムクリエート、株式会社クレオ、株式会社アイサイト、弥蔵舎株式会社、株式会社WOW WORLD、NIPPON ITチャリティ駅伝、株式会社oriai、株式会社ピーストラベルプロジェクト
- 参加：四條畷高校、四條畷学園高校
- 参加人数：約80名（コロナ対応）



JAPAN CHALLENGER AWARD 2023 in 銚子

- 日程：2023年3月5日（日）
 - 場所：千葉科学大学 防災シミュレーションセンター
 - 主催：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子実行委員会 銚子市、銚子商工会議所、一般社団法人 銚子市観光協会、千葉県立銚子商業高等学校、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、千葉科学大学、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
 - サポート企業：ヤマサ醤油株式会社、三菱商事株式会社、銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、レオスキャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック、株式会社oriai、株式会社レイメイ藤井、株式会社大和システムクリエート、株式会社アイサイト、弥蔵舎株式会社、株式会社WOW WORLD
 - 参加：県立銚子商業高等学校
 - 事務局：銚子市 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- ※コロナ感染防止のため、一般参加は不参加



高校生起業体験プロジェクト趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、少子化、高齢化、地域の過疎化など課題が深刻化している。このような社会状況を打開するためには、まず地方の活性化が重要であると考えます。地方に目を向けたとき、地方創生の主役になるべきは、地元の若者をおいて他にはない。地元で育ち、地元で働き、起業するという事は、昔であればごく自然なことだったが、高度経済成長期からは、地方は工場誘致と一部観光地として栄え、若者は都心に集中した。しかし、地方には地産地商の原石が多数ある。原石を地元の中・高生に知ってもらい、それらの良さを活かしたビジネスモデルの作り方を学び、形にしてもらう。「自分たちの力で地域を元気にしたい、元気にできる。」という意識を育み、醸成させ、地方創生につながるムーブメントを創出してゆく。

事業の内容

(株)日本取引所グループが取組んでいる「起業体験プログラム」を採用し、中・高・大生を対象に、起業体験のセミナーを行う。当該セミナーで磨き上げたビジネスモデルは「中・高・大生：JAPAN CHALLENGER AWARD」を開催し発表する。公1の「全国大会：JAPAN CHALLENGER AWARD」の会場では、体験をしたビジネスモデルのブースを出展する。

セミナー事業

東京証券取引所（TPX起業体験プログラム）と共同で起業家セミナーを開催します。TPX起業体験プログラムとは、中学生や高校生を対象に、模擬店ビジネスを行う株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする起業教育イベントです。

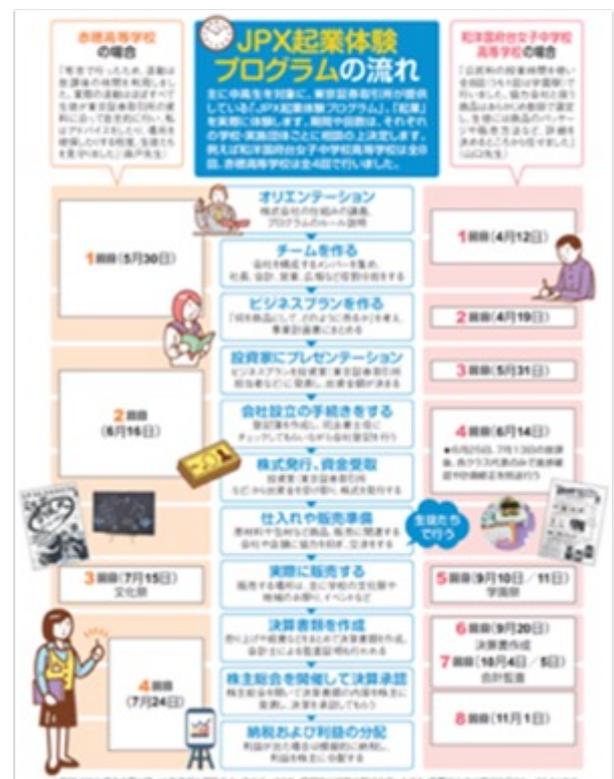


起業体験プログラムの流れ

1.参加者は、チームでビジネスアイデアを考え、投資家（ベンチャーキャピタリスト）に対してプレゼンテーションを行い、投資家から出資を受けて株式会社を作ります。社長、副社長、経理、広報などの役割分担も重要になります。

2.株式会社の経営者として、地域のお祭りや学園祭などを舞台に、本物のお客様に向けて、模擬店を運営しビジネスを行います。

3.販売活動の終了後は、決算書類（損益計算書と貸借対照表）を作成し、監査を受けます。会社が利益をあげた場合には税金を支払い、最後に株主総会を開催して経営の結果を株主に報告し、会社の全財産を株主に分配してプログラムを終了します。



Ⅱ.若者への支援事業（公益事業2） 高校生起業体験プログラム

京都府立丹後緑風高等学校（2022年9月5日）

10月30日に開催する丹後万博と連動して開催される「京丹後発！ICT×地方創生甲子園2022」に向けて、発表を行う京都府立丹後緑風高校の学生へ授業を行った。



京都府立緑風高等学校（2022年9月26日）

京都府立網野高校の生徒に向けて、地方でのビジネスモデルについて講義を行った。



岩手県立沼宮内高等学校（2022年10月24日）

岩手町で同時開催されたイベントと文化祭にて出店をおこなった沼宮内高校の報告会を実施した。



京都府立鳥羽高等学校（2022年12月17日）

起業体験プログラムの実売を地元のイオンにて開催。学生がイキイキと販売していたことがとても印象的で、追加発注を行うほどたくさんの方々にご来場いただいた。



Ⅱ.若者への支援事業（公益事業2） 高校生起業体験プログラム

静岡県立下田高等学校（2022年12月26日）

淑徳大学の矢尾板先生をお呼びし、1時間毎にそれぞれ講義を行った。5月に開催される黒船祭りに出店することを目標に、起業プランの作成を行った。



静岡県立下田高等学校（2023年1月22日）

5月に開催される黒船祭りでの出店に向けてより本格的なビジネスモデルのブラッシュアップを行った。ワーク用のテキストを用いて講義を行ったことで、学生に対してより質の高い起業のノウハウについて届けることができた。



京都府立丹後緑風高校（2023年2月7日）

午前中は1年生に、午後は2年生に向けて起業体験プログラムを実施した。自身のビジネスアイデアと向き合う生徒たちに対して、「稼ぐ」方法について伝授した。



高校生起業体験プログラムIN伊豆賀茂（2023年3月24日）

高校生が自分たちのビジネスモデルを資金調達するためのイベントを開催した。5月20日・21日に20万人が集まる黒船祭りで出店するための資金調達をコンセプトとし、高校生が自分達のビジネスプランについて発表を行った。素晴らしい事業プランの発表に、皆が賛同してくれた。また、レオスキャピタルワークス株式会社CEOである藤野英人氏や東京証券取引所の森元憲介氏も駆けつけてくださり、素晴らしい提案やアドバイスを頂いた。



Ⅱ.若者への支援事業（公益事業2） 高校生起業体験プログラム

高岡向陵高等学校（2023年4月14日）

250名の生徒に、「君はなぜ学ぶのか」をテーマに講義を行った。
自分のしたい将来の仕事と出会うために、勉強も大事という話をした。
究極の選択「君はどちらを選ぶか」・・・
ワクワクを作る仕事かorフマンを消す仕事か・・・
ヒトと向き合う仕事かorモノと向き合う仕事か・・・
などなど、どんどん自分のしたい仕事に近づけていくワークを通し、
ビジネスに対する興味をそそることができるような内容で実施した。



静岡県立下田高等学校（2023年5月20日-5月21日）

黒船の来航と開国を記念した下田最大の祭典である黒船祭にて、起業体験プログラムの実販が
開催された。まち全体が開港当時の情緒で彩られ、着物姿の人々が街中にあふれる賑やかな
イベントの中で、高校生も元気良く輝きながら頑張っている姿が見られた。
1日目終了後、「良かった点・悪かった点」について振り返りを行い、2日目では前日の
反省点を受けて改善するなどして、生徒の主体性と成長のスピードを実感できた。
また、メインステージにて各グループが自社製品についてのPRピッチを行うなど、
全体を通して活発な様子が見受けられた。



Ⅱ.若者への支援事業（公益事業2） 高校生起業体験プログラム

富山県立入善高等学校（2023年5月26日）

独自のテキストを用いて起業体験プログラムを実施。生徒で少人数グループを作成し、自身のアイデアをビジネスにする方法について考える時間を設けた。



学校法人英数学館（2023年5月27日-5月28日）

広島県福山市で開催されたバラ祭りにて、起業体験プログラムの実販を実施。5万人もの人々が集まるビッグイベントにて、出店権利を得て、テントを7万円で借り販売した。オリジナル商品で薔薇パフェ、会社名は、ブルースプリング、Tシャツ販売、アクアセット。下駄など、英数学館の生徒だからこそその商品が盛り沢山でたくさんの方々注目され、購入していただくことができた。



学校法人高岡向陵高等学校（2023年6月13日）

高岡向陵高等学校での講義は4回目となるが、どの生徒も熱心に講義を受けていた。今回の講義では、発表する時に大事なことを重点的に教えた。



新川高等学校（2023年6月15日）

4限目は100名の生徒の前で、講義ライブを行った。そして5限目、6限目と起業体験プログラムの講義を行い、最終的には参加の高校生が休憩時間を忘れてそのまま講義を続行した。

「カレーをいかに面白くするか？」をテーマに、みんなでアイデアを考え、ビジネスにする方法について積極的に考えることができ、たいへん盛り上がっていた。



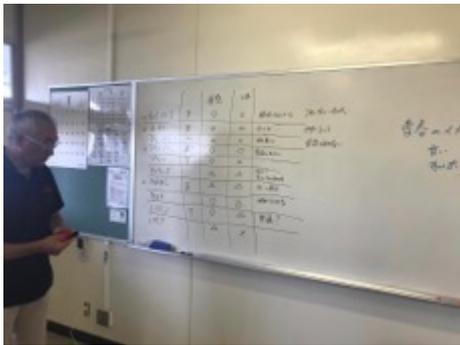
京都府立丹後緑風高等学校（2023年6月26日）

今回はオンラインにて講義を実施した。
現在、緑風高校では4つの会社が立ち上がっている。
クレープ、ジュース、ばら寿司のおにいらず、
そしてゲームの4社。まだ事業アイデア出し段階だが
斬新なアイデアが出てきている。
稼ぐアイデアについて深く講義を行った。



学校法人新川高等学校（2023年7月7日）

商品開発を行う授業を実施した。
実際にスーパーで食材を購入し、さまざまな食品の食べ比べを通して、
「食感」や「味」などを細かく分析しながら開発に取り組んだ。



投資家向け説明会 in 鳥羽高校（2023年7月12日）

鳥羽高校にて、投資家向けに起業体験プログラムの説明会を実施した。投資家に向けて「高校生の事業アイデアの中にある何かを見つけてほしい」という思いを伝えた。



〈1〉事業の概要について

（1）趣旨

地方創生に当たっては、地方そのものの魅力を発信し、地方への興味を喚起し、興味を持った層へは必要な情報を届けていく必要があります。

そして地方の魅力を発信することで、地方創生に興味を持つ層が増え、地方起業にチャレンジする者が増えていきます。

さらに昨今重視されているのは、関係人口の創出であり、いかに地方に関心を持った層を増やすことができるかが、日本全体の活力を高める上で求められていることです。

その対象は地方・都市部問わず若者を中心とした地方に関心が高い層であり、以下の方法が挙げられます。

- 1.メディアを通じた広報
- 2.地方に関心がある層を集めたコミュニティの組成
- 3.イベントの実施等による興味を喚起

地方創生に当たって、地方そのものの魅力を発信・興味喚起し、興味をもった層へは必要な情報を届けていく必要があります。そして地方の魅力を発信することで、地方創生への興味を持つ層が増え、地方起業にチャレンジする者が増えます。

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しているが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

（2）広報事業

弊団体のネットワークによる若者主体のSNS等より、地方創生に関わる情報や地方の魅力そのものを発信しました。

（3）コミュニティ運営事業

地方に興味がある層を集めたコミュニティを実際のグループ、もしくはソーシャルメディア上のグループやオンラインサロンなどで運営します。グループやオンラインサロンでは地方に関わる話題をグループ内外に広報したり、ディスカッションを行いました。具体的には、福島県大熊町のハチドリプロジェクトです。財源は弊団体の寄付収入、会費収入、各府省庁や地方自治体等からの受託によって賄いました。

（4）セミナー事業

地方に興味がある層を集めたセミナーやワークショップを開催しました。内容は以下の通りです。

1. 地方創生に関わる、働き方の紹介やその実践者からの経験談の紹介
2. 地方との2拠点生活、移住・ワーケーションなどに関して参加者同士で議論

セミナー内では、プレゼンテーション形式をとって発表をし、地方創生分野において先駆するゲストが出演するなどのプログラムも行います。このセミナーは、開催時に SNSやイベント掲載サイトでの告知と広報を行い、webフォームや書面での申し込みを受け付ける形で参加者を募ります。原則として参加者は、期限までに申し込みを完了した先着順で決定し、年齢や経歴は不問ですが、内容やゲストによっては参加者を限定して行う場合もあります。各府省庁や地方自治体等からの受託、また地方創生に関心のある企業からの協賛金などを主な財源として開催します。セミナー・ワークショップは、大熊町でのハチドリプロジェクト、京丹後市の特別発表会に向けたワークショップを開催しました。

〈2〉実施開催について

① おおくまハチドリプロジェクト発表会

■日時：令和4年8月29日

■審査員：

江成 道子（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事・日本シングルマザー支援協会代表理事）

中川 直洋（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事）



企画1：道路 de 巨大すごろく～大熊の過去と未来を、震災を知らない子どもたちへ～

提案内容：道路の一部を歩行者天国にし、巨大なすごろくをつくる！

企画提案者：安西志帆さん、大月万夢さん、鈴木晴菜さん、中田泰誠さん、藤辺彩花さん、松田理穂さん、山本若菜さん

企画2：大熊町にUFOがやってくる？～人々に愛されたUFOパンを大熊町でもう一度～

提案内容：多くの町民に愛された「UFOパン」を、大熊町の新しい特産品に

企画提案者：圓山アミさん、熊崎さやかさん、関春佳さん、山口奈桜さん、竹谷隼介さん、鈴木悠功さん

企画3：彩がつなぐ過去と未来、人と人

提案内容：花とアートが持つ“彩り”の力で、町内外をつなぐ

企画提案者：櫻井由伸さん、澤田翔太さん、鈴木愛奈さん、砂田遼大さん、野村亮太さん

企画4：モビリティで大熊を観光地に

提案内容：広い土地を活用して「おおくまモビリティフェア」を開催する

企画提案者：植本翔太さん、西川綾美さん、町田兼都さん

企画5：ベリー大熊

提案内容：大熊町産の「いちご」を都会にいる若者に届けるいちごのイベント

企画提案者：高橋せらさん、小野有佳里さん、田島聡さん、中野拓真さん、堀内俊さん

企画6：大熊総合芸術祭

～みつめるイマ、つくるミライ～

提案内容：大熊町全体を会場とする

「総合芸術祭」を開催

企画提案者：吉田幸希さん、関拓人さん、村岡正人さん、渡辺晴紀さん、小池遥さん、内藤結真さん、西村夏海さん、稲垣凜さん



①「道路de巨大すごろく！」

広い空と心地よい風を感じながら「町を歩く」、また「大熊町で楽しく遊べる」機会を作りたいと考え、巨大すごろくイベントを提案した。



②料理食品チーム「大熊町にUFOがやってくる?! ～人々に愛されたUFOパンを大熊町でもう一度～」

食町民対話セッションで聞いた「UFOパンが美味しかった」という声を受け、UFOパンを復活させると共に、オリジナルメニュー案を作成することや、SNSでの宣伝戦略を提案した。



③芸術チーム「彩がつなぐ過去と未来、人と人」

「花結実の活動」「花に水やりをしたくなるアート」を掛け合わせたコミュニティ作りを提案。



④モビリティチーム「モビリティで大熊を観光地に」

大熊町で導入が計画予定であったスマートモビリティを題材にしたレースイベントを提案した。



⑤ベリー大熊チーム「ベリー大熊」

大熊町産の「いちご」に着目し、都会にいる若者にも福徳県・大熊町のことを知ってもらいたいとの思いで町内でのイベントを企画。



⑥おとこの子チーム「大熊総合芸術祭～みつめるイマ、つくるミライ～」

「色と音で溢れた大熊町」を目指するためにアートの力を活用したいと考え、アート作品、音楽、ザワナの3本立てで提案した。

Ⅲ.地方創生関係人口プログラム（公益事業3）

②地方創生関係人口プログラム

～京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD～内での特別企画より

- 日程：令和4年11月18日（金）10:00～
- 場所：丹後地域公民館（〒627-0201 京丹後市丹後町間人2690番地の1）
- 主催：京丹後市
- 後援：日本取引所（東証）グループ近畿経済産業局、デジタル庁
- 特別協賛：アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会

同志社大学 伊藤萌々、坂本綾香 ゼミ合宿で京丹後市を学生のまちに！

京丹後市で行ったオール同志社教育推進プログラムにて優秀賞を獲得した同志社大学の伊藤さんと坂本さんが発表を行いました。

「#交わる、感動、京丹後」をテーマに、関西の大学生をターゲットとした観光客が落ち着く時期（春・秋）の旅行プログラムを提案しました。

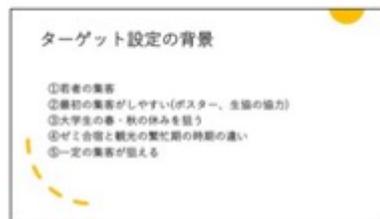
特別発表



同志社大学 伊藤萌々 坂本綾香 ゼミ合宿で京丹後市を学生のまちに！



京丹後市で行ったオール同志社教育推進プログラムにて優秀賞を獲得した同志社大学の伊藤さんと坂本さんが発表を行いました。
「#交わる、感動、京丹後」をテーマに、関西の大学生をターゲットとした観光客が落ち着く時期（春・秋）の旅行プログラムを提案しました。



年間活動報告

令和4

8月	5日	地方起業の面白塾 講師 町井理事
	8日	静岡県掛川市 視察 参加 中川代表理事
	11日	いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD セミナー 講師 藤野会長
	12日	第1回 いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 個別セッション 講師 中川代表理事 18日まで
	17日	京丹後発！ICT×地方創生甲子園 選考会
	21日	第1回 SETOUCHI CHALLENGER AWARD 個別セッション 7名 講師 中川代表理事 ~25日まで
	22日	おおくまハチドリプロジェクト 個別セッション 大学生30名 講師 中川代表理事 ~23日まで
	29日	おおくまハチドリプロジェクト 発表会 審査員 江成理事 参加 中川代表理事
9月	2日	地方起業の面白塾 講師 本田理事 乗鞍
	3日	京丹後セミナー 35名 講師 柳澤副会長
	4日	兵庫県豊岡市視察 参加 柳澤副会長、中川代表理事
	5日	京都府祿風高校 講義25名 講師 中川代表理事
		第2回いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 個別セッション 講師 中川代表理事
	10日	第1回京丹後発！ICT×地方創生甲子園 個別セッション 8名 ~13日まで
	12日	静岡県下田視察 参加 中川代表理事
	17日	四條畷セミナー 7名 講師 中川代表理事 18日まで
	18日	第1回「とやまワカモノ・サミット」セミナー 藤野会長（オンライン）コーディネーター仲木専務 参加者 9名
	19日	setouchi CHALLENGER AWARD 個別セッション 講師 中川代表理事
	22日	松本重太郎ツアー（高野山）視察 参加 中川代表理事
	23日	とやまワカモノサミット ヒアリング
	24日	京丹後市セミナー10名 講師 中川代表理事 25日まで
	26日	京都府網野高校講義 25名 講師 中川代表理事
10月	2日	第2回「とやまワカモノサミット」セミナー 10名 コーディネーター 中川代表理事
	4日	第2回 いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 個別セッション 講師 中川代表理事 5日まで
	5日	第1回JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 個別セッション 講師 中川代表理事
	6日	第1回 とやまワカモノサミット 個別セッション（8名）
		第2回京丹後発！ICT×地方創生甲子園 個別セッション 8名
	8日	setouchi CHALLENGER AWARD 開催
	16日	とやまワカモノサミット 開催
	22日	地方起業の面白塾 講師 藤野会長
		銚子シンポジウム（セミナー） 登壇 藤野会長
	24日	岩手県沼宮内高校 講義 講師 中川代表理事
	26日	地方起業の面白塾 修了式 柳澤塾長 中川代表理事
	27日	いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 開催
	30日	京丹後発！ICT×地方創生甲子園 開催
11月	6日	銚子ワカモノサミット（セミナー）講師 中川代表理事
	8日	第1回 京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 個別セッション 7名 講師 中川代表理事
	13日	アサヒみらい町ラボセミナー 講師 中川代表理事
	15日	第2回 京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 個別セッション 7名 講師 中川代表理事
	18日	京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 開催
	20日	日本ITチャリティ 駅伝参加
	23日	JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 開催
	24日	学校法人英数学館 講座 40名 講師 中川代表理事
	25日	三重県立鳥羽高等学校 講師 45名 中川代表理事
12月	5日	京丹後発！ICT×地方創生甲子園 グランプリ 特別サポート 柳澤副会長
	17日	鳥羽高校起業体験プログラム開催
	21日	豊岡市視察
	26日	伊豆高校生セミナー 50名 講師 中川代表理事
1月	14日	京丹後発！ICT×地方創生甲子園 グランプリ 特別サポート 現地視察 コーディネーター 中川代表理事
	21日	英数学館 IR発表会
	22日	伊豆高校生セミナー 50名 講師 中川代表理事
	23日	第1回 くまもと CHALLENGER AWARD 個別セッション 7名 講師 中川代表理事
2月	7日	緑風高校 講義 1年生 50名 講師 中川代表理事 2年生 30名 講師 中川代表理事
	12日	熊本セミナー 20名参加 講師 中川代表理事
	14日	銚子セミナー 12名 講師 中川代表理事 15日まで
	18日	伊豆高校生セミナー 50名 講師 中川代表理事
	22日	第1回JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子 個別セッション 7名 講師 中川代表理事
	24日	京丹後チャレンジャー 個別サポート
	27日	第2回JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子 個別セッション 7名 講師 中川代表理事
3月	1日	銚子個別面談2回目×1名
	2日	銚子個別面談2回目×2名
	3日	銚子商業高校講義
	4日	銚子個別面談×5名
	5日	JAPAN CHALLENGER AWARD銚子開催
	6日	熊本個別面談×1名

年間活動報告

	8日	鎌倉JAPAN CHALLENGER AWARD第1期生フォローアップゼミ
	9日	鎌倉JAPAN CHALLENGER AWARD第2期生フォローアップゼミ
	10日	熊本個別面談×3名
	11日	熊本個別面談×3名
	15日	英数学館
	18日	熊本JAPAN CHALLENGER AWARD開催
	19日	伊豆高校生セッション×3名
	20日	稲取高校
	21日	淑徳大学セミナー、伊豆高校生チーム個別面談×2団体
	23日	南伊豆セミナー
	24日	南伊豆セミナー
	25日	伊豆JAPAN CHALLENGER AWARD開催
	26日	鎌倉JAPAN CHALLENGER AWARD第3期生フォローアップゼミ
4月	4日	高岡向陵高校
	10日	淑徳大学講義
	12日	銚子商業高校講義
	13日	稲取高校ブラッシュアップセッション
	14日	高岡向陵高校
	15日	伊豆の高校生グループブラッシュアップ×3組
	18日	高岡向陵高校講義
	20日	三重県上野高校
	21日	三重県鳥羽高校
	24日	京丹後チャレンジャー個別サポート
	26日	京丹後チャレンジャー個別サポート
5月	2日	銚子チャレンジャー個別サポート×4名
	3日	銚子チャレンジャー個別サポート×3名
	9日	高岡向陵高校講義2回目、英数学館講義
	10日	地方起業の面白塾 講師：面白法人カヤック 代表取締役CEO / 地方企業の面白塾 塾長 柳澤大輔 氏
	17日	面白塾生面談Zoom
	18日	面白塾生面談Zoom
	19日	面白塾生面談Zoom
	20日	下田黒船祭り3チーム高校生参加
	23日	高岡向陵高校3回目講義、英数学館講義、銚子商業高校講義 高岡南高校、富山第1高校訪問
	24日	地方起業の面白塾講義2回目講師：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 代表理事 中川直洋 氏 淑徳大学コミュニティ政策学部教授
	25日	氷見高校、富山商業高校
	26日	入善高校
	27日	英数学館バラ祭り
	29日	京丹後地域おこし協力隊ヒアリング
	31日	面白塾生面談Zoom
6月	1日	長浜・豊岡×3名個別サポート
	2日	長浜・豊岡×2名個別サポート
	4日	長浜・豊岡×1名個別サポート
	5日	緑風高校1回目講義
	6日	高岡第1高校 滑川高校
	7日	地方起業の面白塾講義3回目 講師：一般社団法人8KNOT 代表理事 仙田大騎 氏 チョウシ・チアーズ株式会社 代表取締役 佐久間 快枝 氏
	9日	鳥羽高校講義1回目
	12日	長浜・豊岡×2名個別サポート
	13日	高岡向陵高校4回目 伊豆の高校生グループブラッシュアップ×1組
	14日	地方起業の面白塾講義4回目講師：一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事 木下 斉 氏 レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役CEO兼CIO 藤野 英人 氏
		新川高校（1学年全体講演会）
	15日	新川高校（1年4組探求コース）①14名講義 新川高校（1年4組探求コース）②14名講義 滑川高校
	16日	鳥羽高校1年生講義2回目
	17日	富山プロジェクト 社会人向け学び塾「高岡熱中寺子屋」

年間活動報告

7月

- 19日 長浜・豊岡×1名個別サポート
緑風高校2回目講義
- 20日 伊豆の高校生株主総会資料作りサポート×2グループ
- 21日 伊豆の高校生株主総会資料作りサポート×1グループ、長浜・豊岡×3名個別サポート
- 23日 緑風高校サポート、鳥羽高校1年生3回目、新川高校（1年4組探求コース）14名講義③
- 26日 緑風高校3回目講義Zoom
- 27日 長浜町コイン視察
- 28日 ワークショップ、長浜発表会
- 3日 新湊高校1名個別サポート
- 4日 銚子チャレンジャー個別サポート、銚子商業高校講義、
- 5日 千葉県生涯学習
- 6日 高岡向陵高校4回目、地方起業の面白塾5回目講義講師：地方でデジタル・IT分野に取り組む地方起業家数名が登場
- 7日 新川高校（4回目）⑤1年4組探究コース14名講義、富山県立新湊高等学校
- 8日 英数学館、高岡向陵高校個別サポート×1名
- 9日 富山セミナー朝日町
- 11日 富山チャレンジャー個別サポート×1名
- 14日 滑川高校、新湊高校、富山チャレンジャー個別サポート×1名、高岡向陵高校個別サポート×1名
- 15日 富山チャレンジャー個別サポート×1名
- 18日 銚子商業高校、滑川高校、熊本セミナー、
- 20日 新湊高校、高岡向陵高校個別サポート×1名、
- 22日 富山チャレンジャー個別サポート×1名
- 24日 銚子高校、高岡向陵高校個別サポート×1名、
- 25日 富山チャレンジャー個別サポート×3名、新湊高校、富山商業高校、
- 26日 地方起業の面白塾講義6回目 講師：株式会社バンクチュアル 代表取締役 守時 健 氏
- 27日 滑川高校Zoom、富山商業高校
- 28日 瀬戸内セミナー
- 29日 瀬戸内セミナー
- 31日 新湊高校、富山チャレンジャー個別サポート×1名

収支報告書

単位：円

(1) 経常収益				
受取会費				3,910,000
正会員受取会費				60,000
会員受取会費				3,850,000
事業収益				22,963,368
チケット収入				67,396
受取受託料				21,448,872
受取参加料				1,447,100
受取寄付金				4,100,000
受取寄付金				3,420,000
協賛金収入				680,000
受取寄付金振替額				0
雑収益				45,878
受取利息				6
雑収益				45,872
経常収益計				31,019,246

事業費	30,378,653	役員報酬	8,322,000
旅費交通費	3,501,120	給料手当	963,300
諸礼金	37,500	法定福利費	1,071,012
会場費	741,508	旅費交通費	6,104
テキスト代	656,788	事務用消耗品費	53,073
広告宣伝費	1,417,615	賃借料	382,470
支払手数料	39,334	事務委託費	1,059,539
通信運搬費	275,282	通信運搬費	51,078
事務消耗品費	42,254	租税公課	138,006
消耗品費	71,035	支払手数料	11,860
減価償却費	1,008,332	雑費	49,153
印刷製本費	0	支払利息	22,142
会議費	803,924		
賃借料	0		
調査研究費	69,070		
租税公課	3,550		
支払負担金	660,000		
委託費	8,903,016		
図書研究費	5,588		
雑費	13,000	経常費用	31,017,065

当期経常増減額 2,181

*事業費は、公益1、公益2、共通を合算しています。

*事業費の広告宣伝費では、当初計画のなかった書籍制作を行いました。地方起業の教科書は、増刷にもなり、今後は印税も入ってきます。

セミナーのテキストとしても活用しますが、弊社の活動を知っていただくため、省庁は自治体、学校へ配布してます。

*管理費の支払手数料は、公益手続きの報酬です。



株式会社ピーストラベルプロジェクト

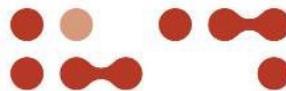


一般社団法人

日本シングルマザー支援協会®



ヤマサ醤油株式会社



RHEOS CAPITAL WORKS